



ボランティアと市民活動

市民活動とは、立場が異なる個人個人がつながりを持ち、ある共通の目的を自主的に達成しようとするでしょう。そこには「多様な」人とどのように社会を作っていけるかというヒントもあります。今回の講座では、市民によるボランティア活動と「共生」社会づくりについて、考えていきます。



9月21日～10月26日(土)午後2～4時

会場:こみゅにていぶらざ八潮

日時	タイトルと内容	講師
第1回 9月21日 (土)	<p>見沼田んぼ福祉農園の活動を例に</p> <p>私の活動している見沼田んぼ福祉農園は、東京から20キロ圏にある広大な農的緑地空間「見沼田んぼ」の中にあります。</p> <p>見沼田んぼ福祉農園では、障害の有無、年齢や国籍の違いなどを超えて、様々なひとたちが営農活動をしながら、見沼田んぼの保全とコミュニティづくりをおこなっています。この活動を例に、ボランティアとは何かを皆さんと考えられればと思います。</p>	<p>明治学院大学 教養教育センター 教授</p> <p>猪瀬 浩平</p>
第2回 10月19日 (土)	<p>聴覚障害者理解、障害のある人との共生</p> <p>手話サークルに入り25年、手話通訳者になって18年、沢山の聴覚障害者の方々と出会ってきました。聴覚障害者と区民の方々が、共生してよりよい生活をしていくために、私の感じていることをコミュニケーションや防災の面等からお話し、皆さんと共に考えていきたいと思ひます。</p>	<p>明治学院大学 非常勤講師</p> <p>荒木 泉</p>
第3回 10月26日 (土)	<p>外国人集住が進む「いちょう団地」と市民活動</p> <p>神奈川県最大の県営住宅であるいちょう団地は、現在25%ちかい外国人世帯が暮らす、集住地区になっています。外国人の支援活動の多くは、長年そのほとんどがボランティアによって担われてきました。</p> <p>今回の講座では、いちょう団地で活動する団体の目的を通して、市民がどのように外国人とのつながりを作っていけるのかを考えます。</p>	<p>明治学院大学 教養教育センター 准教授</p> <p>長谷部美佳</p>

募集要項は裏面にございます



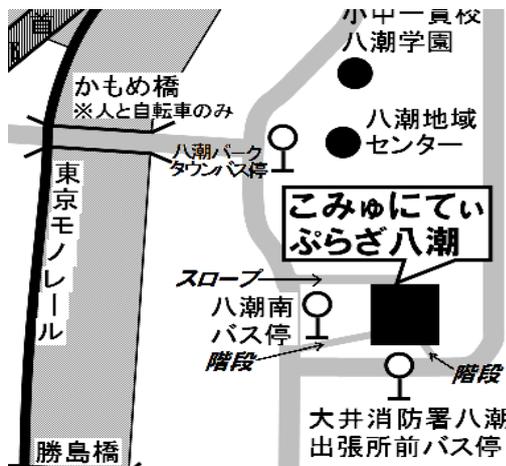
◎ 募集要項

アクセス

(公共交通機関をご利用ください)

都営バス: 大井町駅東口か品川駅東口から、八潮パークタウン行に乗り、「八潮南」下車徒歩1分

京急バス: 大井町駅東口か大森駅東口から、八潮パークタウン行に乗り、「大井消防署八潮出張所前」下車徒歩2分



日時	令和元年9月21日、10月19日、26日(土)
時間	午後2時～4時
会場	こみゆにていぶらざ八潮(八潮5-9-11)
対象	16歳以上の品川区在住・在学・在勤の方
定員	90人(応募者多数の場合は抽選)
費用	無料
締切	令和元年9月10日(火)必着 ※締切日を過ぎた場合はお問い合わせください。
応募方法	① 往復はがきで講座名・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・手話通訳・託児の有・無を明記の上、ご応募ください。なお、託児は1歳～就学前児童が対象、別途おやつ代が必要です。希望者はお子さんの氏名(ふりがな)・月年齢・性別もご記入ください。 ② 品川区ホームページ・右記QRコードから電子申請もできます。(8月21日～)
応募先	〒140-8715 品川区広町2-1-36 品川区役所文化観光課生涯学習係 問い合わせ: 電話 03-5742-6837 FAX 03-5742-6893

往復はがきの記入方法

この部分には何も記入しないでください

往信側

62 〒140-8715

往信

品川区広町2-1-36
文化観光課
生涯学習係 行

必ずご記入ください

返信側

62 (あなたの郵便番号)

返信

(あなたの住所)
(あなたの氏名)

① 明治学院大学講座

② 郵便番号と住所

③ 氏名(ふりがな)④ 年齢

⑤ 電話番号

⑥ 手話・託児を希望する場合は、その旨を記入

◎ 明治学院大学について

明治学院大学は、1863年にヘボン博士夫妻により開設されたヘボン塾を淵源とする歴史ある大学です。港区と横浜に6学部・7研究科を擁する文系総合大学で、創設者ヘボン博士の生涯を貫く信念である“Do for Others”を教育理念として、コミュニケーション能力に富む、共生社会の担い手となる人材育成に取り組んでいます。

白金台にあるキャンパス構内には明治から大正にかけて建築された記念館・インブリー館・チャペルといった歴史的建造物が残されており、いずれも文化財に指定されています。

主催 品川区